

【強いアフリカ域内経済】 域内統合の推進と魅力的なビジネス環境の構築： グリーン成長に向けたエネルギー・トランジション

現状と課題

- 電力公社における発送配電の維持管理能力の不足や、変動性再生可能エネルギー（太陽光や風力）の増加に対応する系統安定化システム未整備により、電力の安定的供給が困難となっている。
- アフリカは広大な面積、低人口密度により、未電化人口が世界一多く、依然として電化人口増加が大きな課題である。一方で、水力、地熱などの電力供給安定化に資する再エネ資源に恵まれているが、十分に活用することができていない。
- 政策・制度、事業者・ファンド等へのリスクマネー供給の面で投資環境が十分に整備されていない。コロナ禍において電力事業の経営悪化や医療機器の稼働に必要な電力の不足が露見している。

今後の取り組み方針

●グリーンエネルギー×安定供給

- ✓ 世界トップクラスにある我が国電力会社のノウハウとデジタル技術を最大限活用しつつ、変動性再エネ導入（太陽光、風力）に対応する系統安定化（中給含む）や電力公社の発送配電の維持管理能力強化、エネルギー需要側における省エネルギー支援に取り組む。
（電力会社の海外展開戦略（IPP、O&Mビジネス）と連携）
- ✓ 地熱については、探査や発電所建設支援に加え、ボトルネックとなっている蒸気資源開発（試掘）の実施を行う（ジブチ、エチオピア）。

●グリーンエネルギー×アクセス

- ✓ アフリカの恵まれたグリーンエネルギー（地熱や水力など）を域内で享受できるよう、米国（JUCEP）などの他ドナーと共にパワープール（基幹送電）の整備に取り組む。
（価格競争力強化に取り組む我が国メーカーの製品を活用）
- ✓ 配電ロスを低減しつつ、グリッド拡大に取り組む。
（価格競争力強化に取り組む我が国メーカーの製品を活用）。
- ✓ 民間投資を最大限に活用しつつ、オフグリッド電化を促進する。

●グリーンエネルギー×ビジネス

- ✓ グリーン分野での民間資金導入促進に向けた政策・制度・事業形成アドバイス支援等を行う。事業アーリーステージのリスクを緩和するため、事業者向けの支援策としてファイナンスや、現地情報（ボランティア等）、ノウハウ（SHEP等）の提供について検討する。地熱では実施機関によるPPPストラクチャリングへのアドバイス支援を行う。
- ✓ 他クラスターやスキーム間で連携しつつ、農業などの現地産業の活性化に貢献するとともに雇用促進に貢献。また、保健医療などの公的サービスの改善に貢献。



貢献する SDGs



経済

【強いアフリカ域内経済】 域内統合の推進と魅力的なビジネス環境の構築： グリーン成長に向けたエネルギー・トランジション

これまでのJICAの取り組み



アンゴラ電源・基幹送電網を対象とした電力マスタープランを策定するプロジェクト内で、カウンターパート向けの研修を実施。



ルワンダの首都キガリで、送配電網の改修・拡張を支援し、電力供給の安定化・効率化を図っている。



豊富な地熱資源を有するエチオピアで地熱開発に係る能力強化を支援。写真はAluto Langanu地熱発電所での蒸気採取の様子。



ガーナの首都アクラで変電所のアップグレードを実施し、安定した電力供給に貢献。



ケニアの首都ナイロビから北西に100キロの場所にあるオルカリア地熱発電所。日本製の蒸気タービンが使われている。



日本に留学中の長期研修員向けに実施しているJICA特別プログラムにおいて、地熱発電用バルブのメーカーを訪問。